

令和7年度住之江区運営方針の進捗状況と 今後の方針性について 【すこやか・まちづくり部会】

経営課題2 【すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために】

めざす成果及び戦略

2-1 【支え合い安心して暮らせるまち】

…4

2-2 【活力と魅力のあふれるまち】

…7



2-1 支え合い安心して暮らせるまち

将来像	みんなで見守りあい、専門家と連携して支援を提案できる状態	課題	専門機関と連携して支援できる、課題解決に自律的に取り組む地域づくり
-----	------------------------------	----	-----------------------------------



この将来像に向けて2つの取組を進めています



【具体的取組2-1-1】 安心を提供する福祉施策の推進

取組	区民の困りごとに対してより的確な支援につなげるよう、職員の「気づき」「感度の向上」を図る「事実確認シート」の作成及び研修を実施 ＜課題＞区民が安心して相談できる相談支援体制の充実を図る必要がある。 ＜方向性＞安定的に継続した研修等を実施し、区民の困りごとに対して職員の「気づき」や「感度の向上」を図る。	P5
----	---	----

【具体的取組2-1-2】 地域福祉の充実

取組	見守りあつたかネット連絡会を毎月開催し、各地域の課題や取組を共有。見守りあつたかネットセンター養成講座を開催 ＜課題＞見守りあつたかネットセンター養成講座に、新たに参加してくれる区民が少ない。 ＜方向性＞地域のつながりを活用するなどして、サポートの内容をわかりやすく発信することで、区民の参加促進へと繋げる。	P6
----	--	----

2-2 活力と魅力のあふれるまち

将来像	多様な主体の連携によるまちづくりで地域の活気と魅力の向上	課題	多様な主体の活動と相互連携の活性化、地域活動協議会の自律へのサポート 多様な主体の情報発信へのサポート
-----	------------------------------	----	--



この将来像に向けて2つの取組を進めています



【具体的取組2-2-1】 多様な主体と連携した地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

取組	地域活動協議会の自律運営に向けた支援、情報発信等の取組を支援、企業・NPO・学校・地域交流会の開催 ＜課題＞地域の情報発信力を高め、地域課題の解決に向けた協働取組が更に活発となるよう支援が必要。 ＜方向性＞まちづくりセンターと連携した情報発信等に係るスキル向上の支援や、企業・NPO・学校・地域交流会の継続的な実施及び内容の充実を図る。	P8
----	--	----

【具体的取組2-2-2】 地域の魅力の共有と発信

取組	地域が情報を発信するポータルサイトの運営、周知、投稿支援 ＜課題＞情報発信を行った件数は増加傾向にあるものの、利用(投稿)する団体に偏りがある。利用状況について検証する必要がある。 ＜方向性＞利用状況の検証結果を踏まえ、他の情報サイトの活用も考慮しながら、地域の情報発信支援の手法について検討する。	P9
----	---	----

令和7年度 住之江区運営方針

区の目標(何をめざすのか)

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざす。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- 区役所機能の強化～区民に寄り添う区役所をめざします～
区民の視点に立った区役所サービスの提供
まちづくりの支援拠点としての機能の強化
- 官民連携・情報発信の強化～活力ある地域社会を実現します～
官民連携の強化による地域課題の解決
区政情報・区の魅力の効果的な発信

令和7年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- 子どもたちの未来のために、「安心して子育てができる、子どもたちが笑顔で育つまち」「子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち」をめざします。
- すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために、「支え合い安心して暮らせるまち」「活力と魅力のあふれるまち」をめざします。
- 安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざします。

計
画

経営課題2 すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために

【主なSDGsゴール】



めざすべき将来像(最終的なめざす状態)〈概ね10~20年間を念頭に設定〉

地域の人々や様々な機関が、それぞれの立場でできることを行い、できないところはお互いに連携し取り組んでいくことで、すべての人々が温かく見守られたり、必要な支援を受けながら、住み慣れた地域に愛着を持ち、自分らしい暮らしを安心して送ることができるまちをめざす。

課題

【支え合い安心して暮らせるまち】

- 福祉関連施策をより着実に推進するとともに、多様化・高度化する社会環境に柔軟に対応できるよう、関係機関との相互連携を一層強化するなど、支援を必要とする人に寄り添い支える地域づくりを一層進める必要がある。
- 地域福祉ビジョンや広報紙などによる啓発や、地域での見守りの担い手である「見守りあつたかネットサポーター」の養成、区社会福祉協議会との連携などによる地域福祉の一層の充実を図る必要がある。

【活力と魅力のあふれるまち】

- 企業・NPO・学校・地域交流会を開催するなどの支援により地域活動協議会の自律度は着実に改善しているものの、引き続き、より幅広い人材、団体など、多様な主体による地域活動及び主体間の相互連携の一層の活性化を図るとともに、地域の自主財源の強化のためのサポートや、新たな地域活力を創出するためのICT活用など、地域活動協議会の自律的な運営をより一層促進する必要がある。
- また、既存の地域イベントだけでなく、更なる地域の魅力の再発見や新たな魅力の創出につながるよう、これまでの紙媒体での広報に加え、SNSなど多様な広報媒体を活用し、地域の魅力の共有と発信が一層進むよう取り組む必要がある。

経営課題2

すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために

【めざす成果及び戦略2-1】

支え合い安心して暮らせるまち

めざす状態

【令和7～11年度の5年間】

地域の誰もがちょっとした声掛けなどを通じて地域の気になる方を温かく見守りあうとともに、支援を必要とする人の抱える課題に対して、さまざまな分野の関係機関が連携協力し、より課題に即した支援を提案出来るようになっている状態

戦略(中期的な取組の方向性)

指標

計画

- 地域ですこやかな生活が送れるよう、福祉・健康・医療・介護・暮らしの支援などの制度のもと、福祉サービスを総合的に提供するとともに、包括的な支援の仕組を構築し、地域において誰もが支え合い、いきいきと豊かに尊厳をもって暮らすことができるよう取り組む。
- 誰もが自分らしく安心して生活できる環境を実現するためには、地域内で住民同士が互いに支え合い、それが自分らしく活動できるコミュニティづくりが重要である。身近に住む住民の皆さんのが、お互いを気にかけ、見守ることで相手の変化に気づくことができる。住之江区では、各地域が高齢者、障がい者、子どもなどを見守る活動を行っており、変化に気づいた人が自ら助けることができない場合や解決が難しい場合であっても、地域で見守り、適切な支援につなぐことで支え合うことができる。地域で孤立せず、自分らしい生活を送ることができるような、気にかけ、つながり、支え合う地域づくりを推進していく。

令和11年度末までに、地域活動協議会アンケートで、地域の中で見守りやつながりづくりに資する活動ができていると回答する割合 60%以上

経営課題2

すべての人が自分らしくいきいきと暮らせるために

【具体的取組2-1-1】

安心を提供する福祉施策の推進

計画	取組内容	指標				
	<ul style="list-style-type: none">●区役所の全ての職員が、区民の困りごとに対してより的確な支援につなげられるよう、「気づき」や「感度の向上」に関する安定的に継続した研修等を実施し、相談対応力の向上を図る。●個別の支援にあたっては、関係機関の情報共有・連携のため、関係法令に基づく会議のほか、総合的な支援調整の場(つながる場)及び生活困窮者支援会議(シェア会議)などの積極的な活用を進める。	区役所の全職員に対して実施するアンケートで「区民の相談に対して、適切な支援につなげられるように、課題に「気づく」ことを意識して行動できる。」と回答する割合 80%以上				
	<h3>取組実績等 －9月末時点－</h3>					
方向性の確認	<ul style="list-style-type: none">●区民の困りごとに対して適切な支援につなげられるように、区役所全職員に対して「気づき」「感度の向上」に関する研修(e-ラーニング)を年内に実施予定●総合的な支援調整の場(つながる場)を兼ねた住之江区合同会議を年内に開催予定	進捗状況：予定どおり				
	<table border="1"><thead><tr><th>課題</th><th>方向性</th></tr></thead><tbody><tr><td>区民が安心して相談できる相談支援体制の充実を図る必要がある。</td><td><ul style="list-style-type: none">●安定的に継続した研修等を実施し、区民の困りごとに対して職員の「気づき」や「感度の向上」を図る。●令和8年度継続実施</td></tr></tbody></table>		課題	方向性	区民が安心して相談できる相談支援体制の充実を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none">●安定的に継続した研修等を実施し、区民の困りごとに対して職員の「気づき」や「感度の向上」を図る。●令和8年度継続実施
課題	方向性					
区民が安心して相談できる相談支援体制の充実を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none">●安定的に継続した研修等を実施し、区民の困りごとに対して職員の「気づき」や「感度の向上」を図る。●令和8年度継続実施					

クローズアップ －取組の解説－

■職員の「気づき」「感度の向上」に向けた取組

区民の相談の内容に対し的確な支援につなげるよう、区職員に対し区民の課題に対する更なる「気づき」「感度の向上」を図り、区役所内や関係相談機関との連携を含めて、必要な支援につなげられるよう、研修等を実施します。



経営課題2

すべての人が自分らしくいきいきと暮らせるために

【具体的取組2-1-2】

地域福祉の充実

計画	取組内容	指標
	<ul style="list-style-type: none">●ちょっとした声掛けや見守りといった地域福祉の取組への参加を促進できるよう、各地域の取組や課題を把握し、啓発を行う。●各地域や企業、学校等において、高齢者、障がい者、児童などに対する地域の見守り活動の担い手である「見守りあつたかネットセンター」を養成する。養成においては、「見守りあつたかネットセンター養成講座」により多くの参加を促進するため、時間帯や曜日などを柔軟に開催する。●区社会福祉協議会と連携し、要援護者名簿の活用や見守り等、地域福祉活動に関する先進的な取組を各地域と共有するとともに、見守り相談業務などの地域福祉活動においてのICT活用や、見守りあつたかネットセンター養成講座等の研修でのICT活用について、地域、関係機関とともに検討を行う。	地域向け「見守りあつたかネットセンター養成講座」への年間参加者数 300人以上
取組実績等 －9月末時点－		
<ul style="list-style-type: none">●見守りあつたかネット連絡会(4月、5月、6月、7月、8月、9月開催)●見守りあつたかネットセンター養成講座（地域向け：8回 参加者145人、学校向け：4回 参加者132人） 10月以降も順次開催予定であり、順調に進んでいる。		進捗状況：予定どおり
方向性の確認	課題	方向性
	見守りあつたかネットセンター養成講座に、新たに参加してくれる区民が少ない。	<ul style="list-style-type: none">●地域のつながりを活用するなどして、サポートの内容をわかりやすく発信することで、区民の参加促進へと繋げる。●令和8年度継続実施

クローズアップ －取組の解説－

■見守りあつたかネットセンター養成講座

日頃気になる地域住民の生活に異変を感じたら、関係機関に連絡するという「ゆるやかな見守り活動」から、定期的な安否確認が行えるよう、各地域において日ごろから見守り活動の担い手となるセンターを養成する講座を実施し、「組織的な見守り活動」が行える地域の体制を構築することを目指します。



経営課題2

すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために

【めざす成果及び戦略2-2】

活力と魅力のあふれるまち

めざす状態

【令和7～11年度の5年間】

- 個人、地域団体、NPO、企業等による活発で多様な活動を源泉にしたまちづくりにより、地域の活気と魅力が向上している状態。
- 地域特性に即した地域課題(防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなど)の解決に向けた取組が自律的に進められている状態。

計
画

戦略(中期的な取組の方向性)

指標

- 住之江区の各地域では、日ごろから、夏祭りや子育てサロン、ふれあい喫茶、子どもの見守り、近所の清掃など様々な活動が行われている。これらの活動は、日々の暮らしに、にぎわいと安心をもたらすだけでなく、住之江区全体の活力の源ともなっている。こうした地域活動が将来にわたって自律的に行えるよう、地域活動を支援し、多様な主体による連携を促し、より発展する環境づくりを進める。
- 地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができるまちづくりをめざす。身近な地域にある歴史や文化の魅力を発信し、地域の皆さんのが共有することで、地域への愛着はさらに深まり、次の世代へと引き継がれていく。ICTの活用を図りながら、このような機運を高めるための環境や仕組みづくりを進めていく。

令和11年度末までに、地域活動協議会アンケートで、地域活動協議会が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合 90%以上

経営課題2

すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために

【具体的取組2-2-1】

多様な主体と連携した地域活動協議会による
自律的な地域運営の促進

計画	取組内容	指標
	<ul style="list-style-type: none">●まちづくりセンターと連携し、地域の実情に応じて、地域活動協議会の自律運営に向けた支援を行う。●まちづくりセンターと連携し、地域広報紙の発行やICTを活用した広報など、地域活動協議会の情報発信等の取組を支援する。●区広報紙等において地域活動協議会の紹介をするなど、地域活動協議会の認知度向上に向けた情報発信を行う●地域の内外の人材、資金、地域情報等の地域資源を活用しながら、次世代の担い手確保等の地域課題を解決するために、中間支援組織と連携しながら企業・NPO・学校・地域交流会等を開催する。●交流会等でできたつながりをもとに地域課題の解決に向けた協働取組の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none">●地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等の地域資源を活用した地域活動の実施 12件以上●地域活動協議会アンケートで、まちづくりセンター等は、地域の実情やニーズに即した支援を実施していると回答した割合 90%以上
取組実績等 －9月末時点－		
<ul style="list-style-type: none">●地元企業、NPOの人材、資金、地域情報等の地域資源を活用した地域活動 (新北島見守り活動、敷津浦健康ウォーキング、企業・NPO・学校・地域交流会の開催(9月)等、マルイ食品株式会社より地域活動(ふれあい喫茶等)への卵の提供)の実施 14件		進捗状況：予定どおり
課題		方向性
<ul style="list-style-type: none">●地域の情報発信力を高め、地域課題の解決に向けた協働取組が更に活発になるよう支援が必要。		<ul style="list-style-type: none">●まちづくりセンターと連携した情報発信等に係るスキル向上の支援や、企業・NPO・学校・地域交流会の継続的な実施及び内容の充実を図る。

クローズアップ －取組の解説－

■ マルイ食品株式会社からの地域活動に対する卵の提供

マルイ食品株式会社とパートナーシップ協定を結び、フードロス対策として、廃棄が予定されている卵を地域活動協議会が行う地域活動(ふれあい喫茶等)に対して、提供いただく取組(7月から)
(安立・敷津浦・住之江・住吉川・平林・海の町)。



経営課題2

すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために

【具体的取組2-2-2】

地域の魅力の共有と発信

計画	取組内容	指標
	<ul style="list-style-type: none"> 区内外の方に住之江区を知つてもらうことを目的とするポータルサイト「すみのえ情報局」を運営し活用して、区内の関連団体等の情報発信を支援(サイト周知、登録支援、投稿支援等)する。 ポータルサイトの閲覧・活用の促進を目的として、スマホの使い方を習得するための支援を行う。 	ポータルサイトを活用して情報発信を行った件数 150件以上
方向性の確認	取組実績等 －9月末時点－	
	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体数59団体 情報発信を行った件数116件(8月末時点) スマホちょこっと相談会の開催 株式会社NTTドコモ・相愛大学と連携したスマホ教室の開催 	進捗状況：予定通り

課題

情報発信を行った件数は増加傾向にあるものの、利用(投稿)する団体に偏りがある。地域活動に関する投稿は活発とはいはず、利用状況について検証する必要がある。

方向性

利用状況の検証結果を踏まえ、他の情報サイトの活用も考慮しながら、地域の情報発信支援の手法について検討する。

クローズアップ －取組の解説－

■株式会社NTTドコモ・相愛大学と連携し、相愛大学にてスマホ教室を開催しました。

咲洲あいのもり

